

# 平成30年度居宅訪問型保育基礎研修申込要領

## 1 目的

「職員の資質向上・人材確保等研修事業の実施について」（平成27年5月21日付雇児発0521第19号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）（以下「国通知」という。）に基づき、居宅訪問型保育事業の保育従事者を対象に、その資質の向上を図るため、居宅訪問型保育に必要な保育の知識や技術の習得を目的として研修を行います。

## 2 研修カリキュラム（研修内容）及び研修時間

- (1) 「別表1」のとおり
- (2) 研修時間25時間

## 3 研修日程及び会場

「別表2」のとおり

## 4 参加費用

研修への参加費用は無料です。ただし、研修テキスト代（3,024円（税込））、会場への往復の交通費及び昼食代は、自己負担とします。

## 5 受講申込みについて

受講を希望する場合は、「平成30年度居宅訪問型保育基礎研修受講申込書（様式）」を当協会へ提出してください。

## 6 受講者決定について

- (1) 当協会が受講申込みを取りまとめた後、研修主催者である東京都が受講者を決定します。
- (2) 受講申込者数が定員を上回った場合には、原則として、受講申込書に記載された優先順位順に受講者が決定されます。
- (3) 受講決定者については、当協会から事業者宛てに受講決定通知をお送りしてお知らせします。（受講できない方についての通知はお送りしませんので、御了承ください。）

## 7 修了証書の発行について

- (1) 研修修了者には、修了証書を交付します。未修了の科目がある場合には、一部科目修了証書を交付します（ただし、修了した科目がない場合を除く。）。レポート（研修ふりかえりシート）の提出の有無は、交付には影響しません。
- (2) 原則として、遅刻・早退等があった場合には（時間の長短にかかわらず）、当該科目は未修了の扱いとなりますので、ご注意ください。  
また、公共交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を提出してください。
- (3) 実践演習Ⅰを修了するには、DVD・お世話編・あそび編・ディスカッションの4コマの受講が必要です。4コマのうち一部のコマのみを受講された場合、来年度以降への繰り越しはできません。（今年度受講されたコマを含め、4コマすべて再受講していただく必要があります。）
- (4) すでに東京都発行の居宅訪問型保育基礎研修「一部科目修了証」をお持ちの方は、受講初日に一部科目修了証書のコピーの提出をお願いします。

## 8 研修実施主体

東京都

※当協会が、東京都から委託を受けて実施します。

## 9 今年度の実施予定について

今年度は、本第5回をもって終了します。

別表 1

## 居宅訪問型保育基礎研修カリキュラム

科目	内容	時間
居宅訪問型保育の概要	①児童家庭福祉における居宅訪問型保育の社会的背景、経緯、歴史 ②居宅訪問型保育の実態 ③居宅訪問型保育の事業概要 ④地域子ども・子育て支援事業における居宅訪問型保育の展開 ⑤居宅訪問型保育の有効性と課題	60分
乳幼児の生活と遊び	①子どもの発達と生活 ②子どもの遊びと環境 ③人との関係と保育のねらい・内容 ④子どもの一日の生活の流れと役割	60分
乳幼児の発達と心理	①発達とは ②発達時期の区分と特徴 ③ことばとコミュニケーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力（移動運動） ⑦こころと行動の発達を支える保育者の役割	90分
乳幼児の食事と栄養	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④保育者が押さえる食育のポイント	60分
小児保健Ⅰ	①乳幼児の健康観察のポイント ②発育と発達について（母子健康手帳、予防接種について） ③衛生管理・消毒について ④薬の預かりについて	60分
小児保健Ⅱ	①子どもに多い症例とその対応 ②子どもに多い病気（SIDS等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する。 ③事故予防と対応	60分
心肺蘇生法 【実技】	心肺蘇生法、AED、異物除去法等 ※乳幼児を対象とした救急救命が行えるようにその技術を身に付ける。見学だけの科目にならないよう留意する。	120分
居宅訪問型保育の保育内容	①居宅訪問型保育を利用する家庭（子ども・保護者）のニーズ ②居宅訪問型保育の特徴 ③居宅訪問型保育における配慮事項 ④居宅訪問型保育の実際（演習） ⑤居宅訪問型保育における計画と記録	120分
居宅訪問型保育における環境整備	①保育環境を整える前に ②居宅訪問型保育に必要な環境とは ③環境のチェックポイント	60分
居宅訪問型保育の運営	①居宅訪問型保育の業務の流れ ②保育中の注意事項 ③記録、保護者への報告 ④事業所及びコーディネーターへの連絡、チームワーク ⑤居宅訪問型保育者のマナー	60分
安全の確保とリスクマネジメント	①子どもの事故 ②子どもの事故の予防・保育上の留意点 ③緊急時の連絡・対策・対応 ④リスクマネジメントと賠償責任	60分

居宅訪問型保育の職業倫理と配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職業倫理</li> <li>②自己管理</li> <li>③地域との関係</li> <li>④保育所や様々な保育者との関係</li> <li>⑤行政との関係</li> <li>⑥居宅訪問型保育者の役割の検討（演習）</li> </ul>	90分
居宅訪問型保育における保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①居宅訪問型保育における保護者支援の必要性</li> <li>②さまざまな家庭における家族との関わり方</li> <li>③居宅訪問型保育における子育てアドバイス</li> <li>④保護者への対応～事例を通して考える～（演習）</li> </ul>	90分
子ども虐待	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子ども虐待への関心の高まり</li> <li>②子ども虐待とは</li> <li>③子ども虐待の実態</li> <li>④虐待が及ぼす影響</li> <li>⑤子ども虐待の発見と通告</li> <li>⑥虐待を受けた子どもに見られる行動特徴</li> <li>⑦子どもが家で虐待を受けたと思われたならば</li> <li>⑧不適切な関わり方を防ぐために</li> </ul>	60分
特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>①気になる行動</li> <li>②気になる行動をする子どもの行動特徴</li> <li>③気になる行動への対応の考え方</li> <li>④気になる行動の原因とその対応</li> <li>⑤居宅訪問型保育者の役割</li> <li>⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法</li> </ul>	90分
実践演習 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>①居宅訪問型保育の実際（DVD等の教材の視聴）</li> <li>②実践を想定した演習</li> <li>③グループ討議</li> </ul>	360分

別表 2

平成30年度 第5回 居宅訪問型保育基礎研修 日程及び研修会場

	研修日時		研修科目	講師名(敬称略)	会場
1 日目	3月5日 (火)	9:40~10:40	1h	居宅訪問型保育の概要	尾木 まり
		10:50~11:50	1h	居宅訪問型保育の運営	盛山 利紀
		12:50~13:50	1h	実践演習 I DVD	
		14:00~15:00	1h	居宅訪問型保育における環境整備	尾木 まり
		15:10~16:10	1h	安全の確保とリスクマネジメント	
		16:10~		ふりかえり	
2 日目	3月6日 (水)	9:20~10:20	1h	子ども虐待	佐藤 まゆみ
		10:30~12:00	1.5h	居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項	網野 武博
		13:00~15:00	2.0h	小児保健 I・II	草川 功
		15:00~		ふりかえり	
3 日目	3月7日 (木)	9:30~11:30	2h	心肺蘇生法	草川 功
		12:30~14:00	1.5h	乳幼児の発達と心理	小泉 左江子
		14:10~15:40	1.5h	特別に配慮を要する子どもへの対応	
		15:40~		ふりかえり	
4 日目	3月12日 (火)	9:20~10:20	1h	乳幼児の生活と遊び	須永 美紀
		10:30~12:00	1.5h	居宅訪問型保育における保護者への対応	中舘 慈子
		13:00~15:00	2h	居宅訪問型保育の保育内容	小泉 左江子
		15:00~		ふりかえり	
5 日目	3月13日 (水)	9:20~10:20	1.5h	乳幼児の食事と栄養	山中 恵里香
		10:30~12:00	1.5h	実践演習 I 保育技術(お世話編)	鈴木 道子
		13:00~14:30	1.5h	実践演習 I 保育技術(あそび編)	
		14:50~16:50	2h	実践演習 I ディスカッション	岩久 由香 小松 君恵 盛山 利紀
		16:50~		ふりかえり	

アクセス渋谷  
フォーラム  
スペースB・C  
(渋谷クロス  
タワー24階)

# 平成30年度 居宅訪問型保育基礎研修〔第5回〕 受講申込書

<事業者>

事業者名	(※省略せず、正確に御記入ください。)		
事業者所在地	〒           —		
連絡先   TEL	—           —	FAX	—           —

<受講希望者>   ※事業者内で優先順位をつけ、上から順にご記入ください。

1	ふりがな			生年月日	(西暦)   — — — — 年 — 月 — 日
	受講申込者氏名				
	受講申込者住所	〒           —			
	連絡先   TEL	—           —	FAX	—           —	
2	ふりがな			生年月日	(西暦)   — — — — 年 — 月 — 日
	受講申込者氏名				
	受講申込者住所	〒           —			
	連絡先   TEL	—           —	FAX	—           —	
3	ふりがな			生年月日	(西暦)   — — — — 年 — 月 — 日
	受講申込者氏名				
	受講申込者住所	〒           —			
	連絡先   TEL	—           —	FAX	—           —	
4	ふりがな			生年月日	(西暦)   — — — — 年 — 月 — 日
	受講申込者氏名				
	受講申込者住所	〒           —			
	連絡先   TEL	—           —	FAX	—           —	

※連絡先は、日中御連絡することが出来る電話番号等を必ず御記入ください。